

第84回 憲法を考える映画の会

あの日、群馬の森で — 追悼碑はなぜ取り壊されたのか —



2025年 10月5日 (日)

13時30分～16時30分

文京区民センター 3A会議室

(地下鉄 春日駅 2分・後樂園駅 5分)

■プログラム

13:30～13:40 この映画について

13:40～15:00 映画『あの日、群馬の森で』(79分)

15:00～15:10 休憩

15:10～16:30 トークシェア

(監督、三宅美歌さん、日下部正樹さんとお話)

■参加費：一般 1000円 若者：無料

予約、前売りなどは行っておりません。
参加費は、会場でお支払い下さい。



ドキュメンタリー映画「あの日、群馬の森で — 追悼碑はなぜ取り壊されたのか —」

この国の20年の変化を、追悼碑は静かに見ていた。

「群馬の森」にたたずむ追悼碑が取り壊された。
それは戦時中、日本で過酷な労働を強いられた朝鮮人労働者を悼む碑だった。

20年前、碑の設置を許可した群馬県は、いまや碑の存在が「著しく公益に反する」という。

その背景に浮かび上がったのは、負の歴史を“なかったこと”にしたい人々の執拗な抗議運動だった。全国に広がる歴史修正の動き。

碑はなぜ建てられ、そして取り壊されたのか。

ひとつの追悼碑を通して日本社会の変化を見る。

(映画『あの日、群馬の森で』案内チラシの解説より)

監督：三宅美歌 日下部正樹

撮影：背古謙司 内城悠介 関啓太 小林洋一

編集：高橋和己

音楽：津崎栄作 大野木千夏

2025年制作／79分／TBS

【この映画を見て考えたいこと】

戦争への動きがざわめいていることを、多くの人が感じていることと思います。

だからこそ、戦争がどのようなものであったのか、そして「戦争をさせない」ためにどうしたら良いかを、後の世代に語り伝えようとするのだと思います。追悼碑に刻まれた言葉「記憶 反省 そして友好」。それは、アジアの平和と友好を願う思いを刻んだものでした。

この碑が「反日的」と批判され、それに応えて、自治体がこの碑を壊してしまいました。こうした戦争や加害の歴史の事実を消そうとする動きが各地で行われています。平和と友好を願うことがなぜ、どうして許せないことなのでしょう？

今回の選挙を境に、外国人を排斥しよう、分断しようという言動が、政治の場で、公然とされるようになりました。

一つの時代の変わり目のような、暗い、不安な気持ちになっている方も多いと思います。

ファシズムの台頭する段階でのナチズムの動きや、戦争への道を歩んだわが国の歴史、その中での差別・分断を押し進めた社会。その時の人々の気持ちの動きを繰り返しているように思われます。これは私たちの未来につながる問題です。

もともとTBSの「報道特集」という番組の中で制作されたこのドキュメンタリー作品は、そうした私たちがはっきりしない形で不安に感じている今の社会の姿を考えさせてくれます。

憲法を考える映画の会（関連上映会）これまでの上映作品（2013年4月～2025年10月）

第1回 2013年4月06日 戦争をしない国 日本	第23回 2016年1月31日 白バラの祈り ゾフィー・ショル、最後の日々	第49回 2019年3月02日 天から落ちてきた男	第64回 憲法映画祭2022 4月23日・24日 クレタひとりぼっちの挑戦／ちむぐりさ 私たちの生まれた島／若きハルサーたちの唄 ハーレー市民がつくる町／日本鬼子 映画日本国憲法／コズクリカの奇跡
第2回 2013年5月19日 八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る	第24回 2016年3月26日 グラニート 独裁者を追い詰める	第50回 憲法映画祭2019 4月26日～28日 あの日の声を授けて／天皇の名のもとに 証言 中国強制連行 沖縄スバイ戦史／ありふれたファシズム ショックドクトリン／ベトナムから遠く離れて 共犯者たち	第8回 憲法を考えるちいさな映画会 2022年6月25日 ヒトラー VS チャップリン 終わらぬ闘い チャップリンの独裁者
第3回 2013年6月15日 映画 日本国憲法	第25回 憲法映画祭2016 5月01日 映画 日本国憲法／ありふれたファシズム／ ショック・ドクトリン	自主制作映画見本市 #1 2019年4月30日 死んだらヒマはない／私の描きたいこと ハトは泣いている／隠された爪跡 OKINAWA1975／ 知事抹殺の真実／フクシマ2011	第65回 2022年8月13日 TOMORROW 明日
第4回 2013年7月06日 日本国憲法誕生	第26回 2016年6月26日 ザ・思いやり	第51回 2019年6月30日 沖縄から叫ぶ 戦争の時代 宮古島からのSOS	自主制作映画見本市 #9 2022年9月18日 2887／ワタシタチハニンゲンタ！ 葫蘆島通達／岸辺の代
第5回 2013年8月10日 日本の青空	第27回 2016年7月24日 ハトは泣いている 時代（とき）の肖像	第7回 憲法を考えるちいさな映画会 2019年7月14日 言わねばならないこと／遅すぎた聖断	第66回 2022年10月23日 教育と愛国
第6回 2013年9月14日 ヘアテの贈りもの	第28回 2016年9月17日 焼け跡から生まれた憲法草案	第52回 2019年8月10日 ピカドン ひろしま	第67回 2022年12月25日 日本原 牛と人の大地
第7回 2013年11月02日 ショック・ドクトリン	第29回 2016年10月15日 NO (ノー)	自主制作映画見本市 #2 2019年9月23日 「在日」／証言 中国人強制連行 レーン・宮沢事件／ファルージャ シロウオ／生きるのに理由はいらない	第68回 2023年2月12日 テロリストは誰？
第8回 2013年11月30日 レーン・宮沢事件	第30回 2016年11月03日 わたしの自由について SEALDs 2015	特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」 山田晴 先生 遅すぎた聖断	第69回 憲法映画祭2023 4月29日30日 はだしのゲン／対馬丸／うしろの正面だあれ 少女ファニーと運命の旗／ジョニーは戦場へ行った 沖縄うりずんの雨／教育と愛国／ある戦争
第9回 2014年1月18日 報道写真家 福島菊次郎90歳	第6回 ちいさな映画会 2016年12月10日 抗い ARAGAI 横浜事件を生きて	第53回 2019年10月26日 ニジノキセキ	第70回 2023年7月16日 ドキュメント石垣島／ 沖縄、再び戦場へ（仮） スピンオフ作品
第10回 2014年2月08日・3月01日 “私”を生きて	第31回 2017年1月29日 横浜事件を生きて 横浜事件 半世紀の問い	特別上映会 2019年11月03日 靖国・地霊・天皇 遠近を抱えて PART 2	第71回 2023年8月6日 広島・長崎における原子爆弾の影響
第11回 2014年4月12日 9条を抱きしめて	第32回 2017年2月25日 小林多喜二	第54回 2019年12月08日 主戦場	第72回 2023年10月21日 鶴彬 こころの軌跡
第12回 2014年5月24日 死んだらヒマはない 益永スミコ86歳	第33回 2017年3月26日 武器なき闘い	自主制作映画見本市 #3 2020年1月13日 陸軍前線飛行場／靖国・地霊・天皇 憲法を武器として／9条を抱きしめて 裁判所前庭の男／選挙が生まれる	第73回 2023年12月23日 流血の記録 砂川
第1回 ちいさな映画会 2014年6月21日 ラブ沖縄	第34回 憲法映画祭2017 4月29・30日 意志の勝利／白バラの祈り／夜と露 顔のないヒトラーたち／戦争をしない国 日本 大東亜戦争／天皇と軍隊	第55回 2020年2月11日 アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和	第74回 2024年2月3日 サイレント・フォールアウト
第13回 2014年7月19日 ファルージャ イラク戦争 日本人質事件…そして	第35回 2017年5月27日 知事抹殺の真実	第56回 2020年9月21日 沖縄と本土 一緒に闘う ヤジと民主主義	第75回 憲法映画祭2024 4月29日 ヤジと民主主義／してはら 荒野に希望の灯をともし／戦争のつくりかた ミサイル基地がやってきた 島で生きる サイレント・フォールアウト
第2回 ちいさな映画会 2014年8月17日 僕たちは見た 沈黙を破る	第36回 2017年7月01日 テロリストは誰？	自主制作映画見本市 #4 2020年9月26日 ヒロシマナガサキ 最後の二重被爆者 私たちは忘れたい／二つの故郷を生きて 絆／人らしく生きよう／生きるのに理由はいらない	第76回 2024年6月29日 アトミック・カフェ
第14回 2014年9月21日 ありふれたファシズム 野獣たちのバラード	第37回 2017年8月27日 戦ふ兵隊 日本の悲劇	第57回 2020年11月03日 地の塩	第77回 2024年8月11日 生きていてよかった／千羽鶴
第3回 ちいさな映画会 2014年10月4日 速報 辺野古の闘い 2014年8月 アルマジロ	第38回 2017年10月14日 隠された爪跡 払い下げられた朝鮮人	特別上映会 2020年11月23日 人らしく生きよう 国鉄冬物語	第78回 2024年10月14日 琉球弧を戦場にすな 2025
第15回 2014年11月22日 ANPO あの熱かった時代の「抵抗」のアート	第39回 2017年12月10日 ジョン・ラーベ 南京のシンドラー	自主制作映画見本市 #5 2021年2月23日 天皇の名のもとに／グラニート ザ・思いやり／チェルノブイリハート	第79回 2025年1月12日 映画 〇月〇日、区長になる女。
第4回 ちいさな映画会 2015年2月1日 スパチャリスト わが青春に憐れし	第40回 2018年1月27日 憲法を武器として 恵庭事件 50年目の真実	第58回 2021年3月27日 言わねばならないこと ショック・ドクトリン	第80回 2025年3月20日 ガザからの報告
第16回 2015年3月14日 証言 侵略戦争 証言 中国人強制連行	第41回 2018年2月25日 ザ・思いやりパート2 尊皇と行論	第59回 憲法映画祭2021 4月17日 戦争のつくりかた／戦争をしない国日本 シャドー・ディール／1987、ある闘いの真実	第81回 憲法映画祭2025 4月29日 禁じられた遊び／ヘアテの贈りもの オン・ザ・ロード／夢みる校長先生
第17回 2015年4月25日 イラク 戦場からの告発 ジャーハダ イラク戦争の闘い シリア内戦 イスラム国の正体を暴く	第42回 憲法映画祭2018 4月29・30日 すべての政府はウソをつく／ニッポンの陸 東京裁判／NO／ハトは泣いている トランプのアメリカ	第60回 2021年6月06日 ハワイマレー沖海戦 ドキュメント真珠湾攻撃／ミッドウエイ海戦	第82回 2025年6月28日 琉球弧を戦場にすな 2025 揮啓 住民投票さま 石垣島のまんなかで起きたこと
第18回 2015年6月13日 井上ひさし 九条を語る 加藤周一 九条を語る 女性達にとっての日本国憲法	第43回 2018年6月3日・30日 500年 権力者を裁くのは誰か グラニート 独裁者を追い詰める	第61回 2021年8月08日 荒野に希望の灯をともし	第83回 2025年8月11日 陸軍
第19回 2015年7月18日 東京裁判	第44回 2018年8月25日 「在日」	自主制作映画見本市 #6 2021年9月26日 外国人収容所の闘い／君が代不超立／ 終わりの見えぬ闘い／闘いに消されてるものか	第84回 2025年10月5日（予定） あの日、群馬の森で
第5回 ちいさな映画会 2015年8月23日 井上ひさし 天皇の名のもとに	第45回 2018年9月23日 スペシャリスト 自覚なき独裁者	第62回 2021年11月21日 子どもたちの昭和史	
第20回 2015年9月13日 誰も知らない基地のこと	第46回 2018年11月03日 OKINAWA1965	自主制作映画見本市 #7 2021年12月26日 原爆の町を追われて／ハーレー市民がつくる町 日高線と生きる／作兵衛さんと日本を握る いのちの海	
第21回 2015年10月25日 首相官邸の前で	第47回 2018年12月08日 南京！南京！	第63回 2022年2月06日 標的	
第22回 2015年11月28日 ハートン・アンド・マインズ ベトナム戦争の真実	第48回 2019年1月27日 わたしの描きたいこと	自主制作映画見本市 #8 2022年3月13日 傍聴者あるいは偶然のテロリスト 海辺の彼女たち／ウィッシュマ・サンダマリ オキユバイジャンディ メトロレディーブルース	

憲法を考える映画の会

〒185-0024
東京都国分寺市泉町3-5-6-303
mail : hanasaki33@me.com
TEL:042-406-0502
ホームページ
http://kenpou-eiga.com/

●毎回の「映画の会の案内」をご希望の方は、上記のMailアドレスまで、その旨、お知らせください。